



USBスクロールマウス(USB Scroll mouse) 取扱説明書



USB Scroll mouse

USBスクロールマウス

最初に
ご確認
ください。

セ
ッ
ト
内
容

USBスクロールマウス 1台
ドライバディスク(8cmCD) 1枚
取扱説明書 1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、
お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいて下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

サンワサプライ株式会社

目次

- 1 はじめに
対応機種
- 2 USBマウスの接続における注意
- 4 マウスの接続
- 5 ソフトウェアのインストール
- 6 本製品の使用方法
- 7 USBスクロールマウスソフトウェアの特長

はじめに

この度は、USBスクロールマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このマウスは人間工学に基づいたエルゴノミックデザインのスクロールマウスで、
これひとつでインターネット上でもWindows上でも簡単に画面をスクロールする
ことができます。このスクロールマウスは、指一本で「Magic Roller」を操作でき、
入力も簡単に行えるので、効率の良い手の動きが可能となります。



対応機種

各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ、IBM ThinkPadシリーズ
(USBポート(Aタイプコネクタ)を持ち、8cmCDが使用できる機種)

OSはWindowsMe、Windows98SE/98及びWindows2000に対応。

Windows95/3.1 には対応不可。

この文章中に表記されるその他すべての製品名などはそれぞれのメーカーの登録商標、商標です。

USBマウスの接続における注意

USBインターフェースの動作状況を確認

本製品はWindows98等において自動認識され使用可能となります。
もし、USBコンフォートマウスが正常に動作しない場合、USBインターフェースが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。
下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。
USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

USBマウスの接続における注意

ポインティングデバイス内蔵ノートパソコンでのご使用の際

ポインティングデバイス内蔵の一部のノートパソコンで本製品が正常に動作しない場合、パソコン本体の設定ユーティリティで内蔵ポインティングデバイスを使わないよう設定してください。

例)タッチパッドユーティリティ(Alps Glide point、NX PAD、Synaptics Touch Pad)を内蔵したノートパソコンの場合(SONY VAIO ノート、NEC PC98-NX ノートなど)

「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「マウス」「Glidepoint」のプロパティを開いてください。

「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンを押してください。そのまま進み、「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し次へ進んでください。

「デバイスドライバの更新ウィザード」が立ち上がったら「すべてのハードウェアを表示」を選択してください。

製造元「Microsoft」、モデルを「Microsoft PS/2 Port Mouse」を選択してください。

完了後、再起動し、「Notebooksetup」でタッチパッドを使用しないよう設定してください。

外付けマウスを手順通りインストールしてください。

「マウスウェア」を内蔵している場合は、アプリケーションの追加と削除で「マウスウェア」を削除し、内蔵ポインティングデバイスが「標準PS/2マウス」ドライバで動作している状態でインストール作業を始めてください。

尚、詳細な設定については、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合

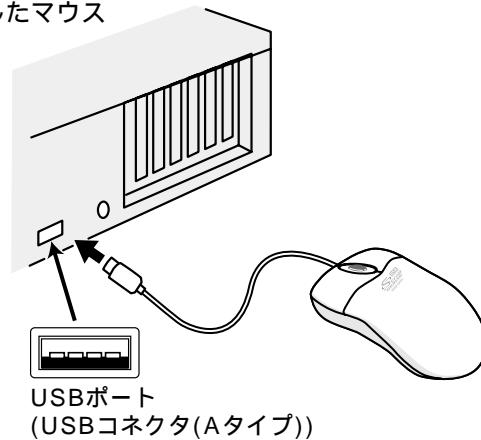
BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。

通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

マウスの接続

注意：まず初めにUSBスクロールマウスを接続してください。

本製品はUSBインターフェイスに対応したマウス
ですので、接続は次のように行います。
接続の際、コネクタには上下がありま
すので注意してください。



コンピュータの電源を入れ、Windows Me/98等を起動させます。
本製品を、コンピュータのUSBポートに接続します。
自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのウィザードが起動し
ます。
あとは、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

新しいハードウェアの追加ウィザード

新しいドライバを検索しています。

USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ

検索方法を選択してください。

• 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ----- 次へ

新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索さ
れます。

フロッピーディスクドライブ(F)

CD-ROMドライブ(C)

Microsoft Windows Update(M)

✓ 検索場所の設定(L)

C:¥WINDOWS¥INF

もしくは C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブに
Windows 98 CD-ROMを挿入し、✓ CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けて
ください。

次のデバイス用のドライバファイルを検索します。

USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ

USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 完了

ファイルのコピー中に見つからないファイルがあるというメッセージが表示され
ることがあります。その場合は、「ファイルのコピー元(C)」に「a:¥」と入力し、
「OK」をクリックしてください。

それでも先に進まない場合は、WindowsのCDをドライブに入れ、そのドライバ
名を「ファイルのコピー元(C)」に入力してください。

また、OSがプレインストールされているコンピュータの場合は、一般的に
「c:¥windows¥options¥cabs」にコピーが保存されています。

Windows 2000の場合は上記の設定と異なります。(以降)

ソフトウェアのインストール

重要：インストール前に他のアプリケーション等を終了しておくことをお勧めします。

USBスクロールマウスを接続したら、付属のドライバソフトを下記の手順でインストールしてください。

Windows Me/98SE/98の場合

- 1) Windowsを起動させ、付属のドライバソフトをCD-ROMドライブにセットしてください。
- 2) 「スタート」から「ファイル名を指定して実行(R)」を選んでください。
- 3) 名前(O) D : ¥Win98NT¥setup.exeと入力してください。(CD-ROMドライブがDドライブの場合)
- 4) 「ようこそ」画面 - 次へ(N) >
- 5) 「マウスのタイプを選択」画面 - 「USBマウス」を選択して、次へ(N) >
- 6) 「インストール先の選択」画面 - 「C:¥ Gmouse」の状態次へ(N) >
- 7) 「プログラムフォルダの選択」画面 - 「Scroll Mouse」の状態次へ(N) >
- 8) 「セットアップ完了」画面 - 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択して、終了。

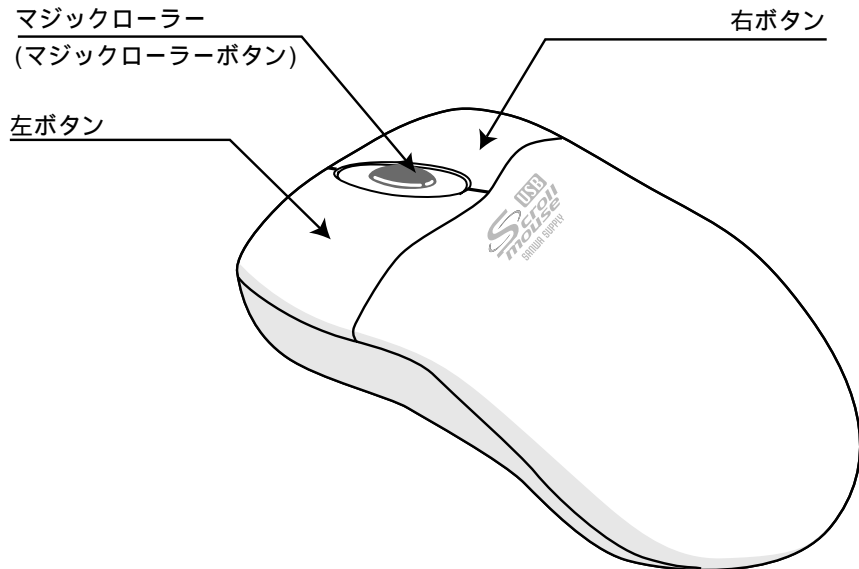
Windows 2000の場合

- 1) Windows2000を起動させ、付属のドライバソフトをCD-ROMドライブにセットしてください。
- 2) 「スタート」から「ファイル名を指定して実行(R)」を選んでください。
- 3) 名前(O) D : ¥Win2k¥setup.exeと入力してください。(CD-ROMドライブがDドライブの場合)
- 4) 「設定言語の選択」画面で - 「日本語」を選択して、次へ(N) >
- 5) 「インストールするハードウェアのタイプ」画面
- 「USBマウスドライバ」を選択して、次へ(N) >
- 6) 「インストール先の選択」画面 - 「C:¥ Gmouse」の状態次へ(N) >
- 7) 「プログラムフォルダの選択」画面 - 「Scroll Mouse」の状態次へ(N) >
- 8) ヒットアップ完了後、readmeファイルが立ち上がりますので、ファイルを終了すれば完了です。

本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。またボタン機能としての設定に変更することも可能です。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。

本製品は、Microsoft IntelliMouse機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、クイックスクロール、オートスクロール、ズーム、データズームなど)が行えます。



左ボタン

左ボタンは一般的なマウスボタンと同じ使用です。例えば、クリック、ダブルクリックなど。

右ボタン

キーボードとマウス両方で頻繁に使う操作を、この右ボタンに記憶させることができます。さらに、イージージャンプ、オートパン、ズームなども行えます。

マジックローラー


インターネットとWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このマジックローラーを前後に回転させて使います。

マジックローラーボタン

キーボードとマウス両方で頻繁に使う操作を、このマジックローラーボタンに記憶させることができます。さらに、イージージャンプ、オートパン、ズームなども行えます。

USBスクロールマウスソフトウェアの特長

スクロールソフトウェアを開く

スクロールコントロールパネルの開き方は、タスクトレイに出ているスクロールマウスアイコン  をダブルクリックしてください。



← スクロールマウス
アイコン

<マジックローラー>

ブラウズするスピード



インターネットやWindowsでドキュメントを使う場合、ブラウジングスピード(スクロールのスピード)を調節できます。

ブラウズする方向



マジックローラーを前に動かすとドキュメントの初めにスクロールします。逆転を選択するとドキュメントも逆方向に動きます。

<ポインタ>

ポインターフォルダ

カーソルの形を変えることができます。

<カーソル>

ボタンの検出



ダイアログボックスが画面に出て来た時、自動的にカーソルがボタンに移動します。

ポインタの軌跡



このオプションにより、液晶画面上で簡単にカーソルを発見することが出来るようになります。モニタがこれをサポートしていなければ使用不可能です。

ループ



カーソルを画面の上か下に移動させると自動的にカーソルも上か下に移動します。

USBスクロールマウスソフトウェアの特長(続き)

<アクション>

マウスの速度



カーソルのスピードの調節ができます。

ダブルクリックの速度



ダブルクリックのスピードの調節が出来ます。

ボタンを逆転



右と左のボタンを切替えたい場合はここで設定してください。

<設定>

ボタン割り当て

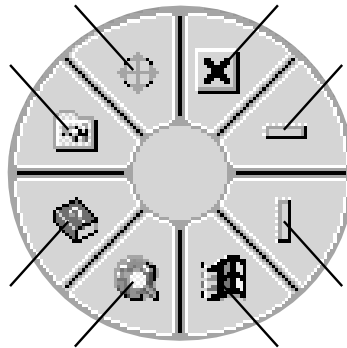


スクロールマウスは頻繁に使うマウス・ドキュメント・ウィンドウの機能を記憶させることが出来ます。さらに特別な特長として、イージージャンプ、オートパン、ズームなどの機能も記憶することが出来ます。これは、ボタンをクリックすると画面に機能のリストアップが出てくるので、ここで例えばイージージャンプの機能を選ぶことができます。

USBスクロールマウスソフトウェアの特長(続き)

Easy Jump(イージージャンプ)の特長

このイージージャンプで8つの特別な機能を簡単に選ぶことが出来るようになります



アプリケーションの終了。

カーソルが水平スクロールバーに移動します。

カーソルが垂直スクロールバーに移動します。

Windowsスタートメニューを開きます。

ブラウザを開きます。

ヘルプメニューを開きます。

スクロールマウスのコントロールパネルを開きます。

Auto-Panning(オートパン)

マウスを動かすとその方向にドキュメントがスクロールされます。ここで設定してください。

アプリケーション:

右ボタンをSwichAPに設定すると、マウスを動かすことなく開いているアプリケーションから他のアプリケーションに早く移ることが出来ます。アプリケーションを選択する場合は右ボタンを押しながらマジックローラーを押してください。アプリケーションセレクタがでてくるので簡単に選択できます。

ズーム:

Office97用、IE4.0アプリケーションのズーム機能

Ctrlキーを押しながらマジックローラーを前か手前に動かすとズーム機能により、前だと、拡大、手前だと縮小されます。この機能は片手で使うことが出来ます。例えば、右ボタンをCtrl機能に設定し、右ボタンを押しマジックローラーを前または手前に動かすとドキュメントウィンドウの拡大、縮小ができるようになります。

パン: この機能はボタンアサインメニューで設定することが出来ます。

マウスを動かすとドキュメントがその方向に移行します。

USBスクロールマウスソフトウェアの特長(続き)

モード(M)

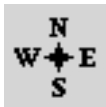
Microsoft Office97のみまたは新しいアプリケーションをサポートしています。この特長はズーム、オートパン、スクロールの特長で、これはMicrosoft Intelli Mouseと似ています。Scroll Mouse Modeはズーム、オートパン、スクロールの特長でスクロールバーを持つアプリケーションをサポートしています。

<バージョン情報>

スクロールマウスドライバのバージョンがわかります。

<方向>

方向の設定



この機能でマウスの方向の調節が出来ます。これにより楽に方向を決めることが出来ます。ポータブルトラックボールの場合に大変有効です。

スクロールのアンインストール

下記で記した内容に従ってください。

スタートボタンをクリックし、「プログラム(P)」を選び「Scroll Mouse」まで移動させてください。「Scroll Mouseのアンインストール」を実行してください。